

なすしおぼら ボランティアセンター情報誌

令和2年11月20日号

“チャリティウォーク県北18”に170名参加！
フードバンクで「優しい社会の輪」を大きく広げる



2020年度、新型コロナで各地のイベントが中止になる中で「これじゃ寂しすぎる」とフードバンク県北が主催した“チャリティウォーク県北18”。52年前まで西那須野～黒羽区間を歩いていた旧東野鉄道跡地（西那須野～大田原間は通称「ぼっぼ通り」）を歩く計画は、新型コロナの影響で参加者が少ないのではと危惧していたのですが、このウォーキングイベントを待っていたかのように申込が殺到。1歳から82歳までの各世代の皆さんが120人を超えて参加されました。さらに50人のボランティアの協力を得て、事前準備から当日の受付、コース案内、休憩所での接待など、歩く人たちと共に楽しんでおられたのが印象に残ります。中には「今度は私たちが歩いてみたい」との声もあり、実現したいと考えています。

集合から解散まで3密を心配していましたが、どうにか回避できたとほっとしています。70歳代の参加者の中には「汽車に俺も乗ったよ」との会話も聞かれ、汽車の走る光景を懐かしんでいただけたと嬉しく思っております。

新型コロナの影響で「雇い止めになった」「残業がなくなり収入が減った」「収入が無く光熱費が払えず止められたのでパンが欲しい」など深刻な現実が身の回りに起きています。普通の生活と隣り合わせの貧困。子どもの貧困は親の困窮であり、地域や社会の問題とも思えます。フードバンクでつながる「優しい社会の輪」を大きく広げるのに多くの皆様の支えが必要です。今後もフードバンクへの支援をよろしくお願いいたします。（フードバンク県北 實）

【QRコード】



▲ボランティア
センター情報誌



▲那須塩原市社協
フェイスブック



“チャリティウォーク県北18” 高校生ボランティアグループ「とんぼの会」参加!



10月3日(土)に行われた“チャリティウォーク県北18”に「とんぼの会」の6名も参加しました。コロナの影響で例年の様なボランティア活動ができない中、誰かの役に立つことができればとの思いで参加しました。3年生の益子^{ましこはるな}揺菜さんは、「久しぶりに長い距離を歩くので心配でしたが、みんなで楽しく歩き切ることができました。私の歩きが誰かのためになれば嬉しいです。みんなの優しさの繋がりを感じることができました。また機会があったら参加したいです。」と話していました。



くさのみ朗読会～那須野が原公園で公開録音 part2～



▲公開録音の様子

11月4日(水)、音訳ボランティア「くさのみ」が、6月に行った朗読会に続き2回目となる「那須野が原公園公開録音」を行いました。前回同様、会員1人1人がエッセイや小説、民話などリスナーの皆さんに喜んでもらえるようにと選んだ書物を朗読しました。遠足の子供達の元気な声が聞こえてきたり、パソコンの充電が途中で切れてしまうというハプニングもありましたが、ハプニングを笑いに替えてしまう「くさのみ」のチームワークの良さを感じました。お昼の休憩では、原っぱでお弁当を食べ、その後、全員で輪になりフォークダンスを踊りました。例年であれば、リスナーの皆さんと交流会や忘年会を開催していますが、今年はコロナ禍ということで開催を見送ることになってしまいました。最後には、「この朗読を聞いて、リスナーの皆さんが少しでも楽しんでいただければ嬉しいです。来年はコロナが収束して、皆さんと笑顔でお会いできることを心待ちにしています。」と朗読会を締めくくりました。



▲フォークダンスの様子



※写真撮影時のみマスクを外しています

塩原温泉**文学**まつり開催！

文豪が愛した塩原温泉郷でスタンプラリー



紅葉の始まった塩原で“塩原温泉文学まつり”が10月30日（金）に開催されました。「塩原文学研究会」と「塩原もの語り館」の共催によるもので、今年で6回目を迎えました。塩原文学研究会の千葉昭彦会長は、「私たちは、塩原の文学を研究していますが、その楽しさ、素晴らしさをもっと知ってほしい、もっと広めたいと考え、文学まつりを始めました。また、文学は難しいと思われがちなので、気軽に親んでもらいたい、もっと身近に感じてほしいと考え実践しています。」と話していました。例年は、塩原もの語り館屋外ステージで「金色夜叉^{こんじきやしや}」の熱海や塩原の場面を寸劇で披露する他、クイズや文学散歩、講話などを行っていましたが、今年はコロナ禍ということで手法を替え、塩原温泉街にある文学碑^{ぶんしん}を巡るスタンプラリーを計画。文人になりきった会員たちが街中を練り歩き、その後スタンプラリーがスタート。スタンプ台とクイズが文学碑に設置され、文人に扮した会員たちが観光客にその碑の内容や文人のエピソードなどを紹介しました。

塩原には約70もの文学碑があります。なりきり文人が登場するのはこの日だけでしたが、文学碑9か所をめぐるスタンプラリーは、11月30日（月）まで開催されていますのでぜひ参加してみてください。スタンプラリーの用紙は、塩原もの語り館でもらうことができます。



✧栃木県知事表彰受賞✧



「塩原文学研究会」は、多年にわたり地域において奉仕活動を行い社会福祉の向上に多大な貢献をされ、令和2年8月24日栃木県知事表彰を受賞されました。



給食サービスの利用者様へのメッセージカードを持って集合写真

9月29日（火）那須塩原市社会福祉協議会黒磯支所にて那須高等学校の授業科目「総合的な探究の時間」における「地元友だちプロジェクト」を実施しました。このプロジェクトは、地元の高校生が将来地域福祉の担い手となるよう、ボランティア活動などを通じて、人間的つながりをつくりだすことにより、地域人としての基礎力を高めることを目的として長期的に活動していきます。

今回は黒磯地区在住の1年生が23名参加しました。社会福祉協議会の仕事内容の紹介や給食サービスの利用者へのメッセージカード作成やアマビエ*1、黄ブナ*2、ころもる*3の「ちぎり絵」を共同で作成しました。ひとりひとりが細かい作業をこなして大きな作品が完成しました。今後は、いろいろなイベントなどのボランティア活動にも参加する予定です。一緒に活動するのが楽しみです。

※1「疫病退散祈願」で話題の日本の妖怪 ※2「無病息災」の祈りを込めた郷土玩具 ※3社協のマスコットキャラクター



▲ちぎり絵を作成している様子



▲メッセージカードを作成している様子



▲完成した「ちぎり絵」の作品です



▲黒磯公園でランチタイム



▲飛び出すメッセージカード



メッセージカード
ありがとう！



優しい心が広がっています！



みんなで広げよう、シトラスリボンプロジェクト。INとちぎ

シトラスリボンプロジェクトとは、愛媛発、新型コロナウイルスの感染者や家族、医療の最前線で働かれている方々への誹謗中傷や差別されることのないように、シトラス色のリボンや専用ロゴを身につけて広めるプロジェクトです。

シトラスリボンプロジェクトに賛同していただいた、黒磯七区在住の平間邦彦さんと地域包括支援センター寿山荘職員の堤エリカさんから手作りのシトラスリボンの寄付がありました。プロジェクトを立ち上げた愛媛県の団体からもメールが届き「優しい気持ちが広がりますように」とのメッセージが添えられていました。

このプロジェクトに取り組んでいるボランティア団体や生きがいサロンがあったり、お友達とシトラスリボンを作成したとの話を聞いたり、テレビや街中でシトラスリボンを付けている方を拝見することがあります。那須塩原市社会福祉協議会は、プロジェクトを通じて優しい気持ちが広がることを願っています。



▲平間さんが寄付されたシトラスリボン



▲地域包括支援センター寿山荘 堤さん



ご協力ありがとうございました



この度は、多くの皆様から心温まる針金ハンガーと布のご寄付をいただきありがとうございました。おかげさまで針金ハンガーは500本まで集まりました。ご寄付をいただいた「針金ハンガーや布」については黒磯中学校「いちご組」にて有効に活用させていただきます。ご協力本当にありがとうございました。なお、布の寄付についてはまだ受け付けておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

黒磯中学校いちご組（特別支援学級）では、製品作りの体験や就労の喜びを味わうとともに、自立した社会生活を送ることへの第一歩として自主製品の販売活動をしています。製品の売上金は学級教材費や活動費に充てられています。



ありがとうございました





知的障がい・発達障がい啓発隊 カラフルBOX

9月26日(土)にボランティアセンターを通して依頼のあった、大田原市の「バリアフリー総研 希望の杜みはら」の職員研修へ出動してきました！今までに小学生・中学生・高校生、自治会や民生委員児童委員の方などへ啓発活動をしていましたが、今回は普段から障がいがある方に接している職員の方に向けた活動ということでメンバー一同、ハラハドキドキしながら行ってきました。

でも研修が始まったらそんな心配は無用で、とても良い雰囲気のなかで研修を行うことができました。もっともっと障がいに理解ある人が増えるように活動していきたいと改めて感じました。

みなさんからのご依頼をお待ちしています！



疑似体験のグッズたち！見えづらいですが・・・感染対策でアクリル板の仕切りも使用して活動しています。



相手に伝えることの難しさを体験しています。伝えるときに気をつけることや工夫とは？

～参加された方たちの感想～

- ・1人1人、特性が違うということを知り、100人いれば100通りのその人に合った支援が必要。これから1人1人をもっとよく見ていこうと思いました。
- ・支援者として、その人の個々の気持ちを知り、より具体的な方法で相手に伝えることが大切だと体験を通じて感じました。
- ・得意なことを伸ばし、自信につながる支援をしていきたいです。
- ・分かりやすい言葉で声かけをして、決めつけることなく理解できるように心がけたいです。
- ・「ちょっと」や「ちゃんと」などの抽象的な表現はつい使ってしまうがちなので、これからは気を付けていこうと思います。



「カラフルBOX」は、那須塩原市心身障害児者父母の会の会員を中心に活動しているんだ。知的障がい・発達障がいがある人の見え方・聞こえ方・感じ方などを疑似体験してもらい、どのような対応が良いのか、工夫が大切かを啓発しているんだよ。多くの理解ある人が増えると良いね！興味がある方は是非お問い合わせください。

【お問い合わせ】

那須塩原市心身障害児者父母の会 事務局 那須塩原市社会福祉協議会 地域支援係 ☎0287-37-5122

ボ ラ ン テ ィ ア 相 談 コ ー ナ ー

収集ボランティアって・・・何をすればいいの？

Q 収集ボランティアをやってみたいと考えていますが、どのような活動をすればよいかわかりません。どのようなものを集めればよいのでしょうか？

A 家にいながら1人でも気軽に始められるのが、収集ボランティアです。使用済み切手や書き損じはがきなど、集めている団体等に送れば、福祉活動や発展途上国の支援活動に役立てられます。こういったものを集める活動を収集ボランティアといいます。何気なく捨てているものが誰かの手助けになるかもしれません。収集ボランティア活動は、寄付を受ける団体の活動目的に賛同することが長く続ける秘訣です。収集寄付の受付口はたくさんあるので、探してみるのもいいかもしれませんね。

ボランティアセンターでは、那須塩原市高校生ボランティアグループ「とんぼの会」が行っている収集活動の受入窓口となり活動を支援しています。

【とんぼの会で集めているもの】

・アルミ缶のプルタブ

障害者福祉施設に寄付し、施設の活動に役立てられています。

・使用済み切手・書き損じはがき・未使用切手・未使用はがき・外貨コイン

『アジア学院』などの団体に寄付し、施設の活動に役立てられています。

・ベルマーク

国際医療福祉大学ボランティアセンターを通して、災害被災校支援に役立てられています。

・未使用の歯ブラシ、未使用のタオル、固形石鹸、えんぴつ（未使用でも使いかけでもOK）

未使用のノートや使い切れずに余ったページのあるノート

フィリピンで医療支援ボランティアを行っている関口歯科医院さんを通して、フィリピンの医療支援に役立てられています。

※他にも集めているものがありますので、詳しくはボランティアセンターまでお問い合わせください。



▲収集物の整理をする
とんぼの会のメンバー

助成金情報

①とちぎゆめ基金「持続可能な地域づくり・SDGs助成」2020

対象事業 ・3～5団体以上の協働での応募であること
・持続可能な地域社会づくりの企てで、調査、人材育成、「継続する仕組み作り」に取り組む内容であること

助成期間 2021年4月1日～2022年3月31日

助成金額 調査助成：1事業10～15万円×3団体程度

応募資格 栃木県内で対象事業を行うボランティアグループ、NPO、社会福祉施設、学校、住民組織等

募集期間 2020年10月1日(木)～12月25日(金)

②とちぎゆめ基金事業助成

対象活動 障害がある、職場・学校になじめない、DV被害等の理由で、生きづらさを感じている方たちの、就労を含めた社会参加を支援する実践活動

助成期間 2021年4月1日～2022年3月31日

助成金額 (1)「とちぎゆめ基金事業助成」：1団体最高30万円×2団体

(2)「小さなゆめ助成」：とちぎゆめ基金事業助成の選考にもれた団体の中から、奨励金として5万円を2団体に助成します。

応募資格 (1)とちぎコミュニティ基金のNPOデータバンクに登録（必須）し、団体の情報公開、NPO全体の信用保証に積極的に協力していただける団体

(2)栃木県内で対象事業を行うボランティアグループ、NPO等

募集期間 2020年10月1日(木)～12月25日(金)

※詳しくは、ホームページをご確認ください。<https://www.tochicomi.org/subsidy/>

【問い合わせ】 とちぎコミュニティ基金（認定NPO 法人とちぎボランティアネットワーク内）

TEL028-622-0021 FAX028-623-6036

スマイル☺マスクプロジェクト

皆さまからお預かりしました手作りマスクを、
病院関係や福祉施設、関係機関などマスクを必要と
している方へお届けしました。

【配布実績】計 2,249枚(10月31日現在)

◆大人用 1,462枚 ◆子ども用 787枚

ボランティア情報募集！！

★ボランティア募集、投稿記事など、ボランティア
に関する情報をお寄せください。情報誌に掲載さ
せていただきます。

【ボランティアセンター本所】



住 所：那須塩原市南郷屋5-163
健康長寿センター内

電 話：0287-47-6700

FAX：0287-47-6690

Eメール：v.center@ns-shakyou.jp

ボランティアセンター本所の スペース利用について

コロナウィルス感染予防対策として、下記の
とおり利用人数を制限しています。

会議室(約19㎡) … 5名

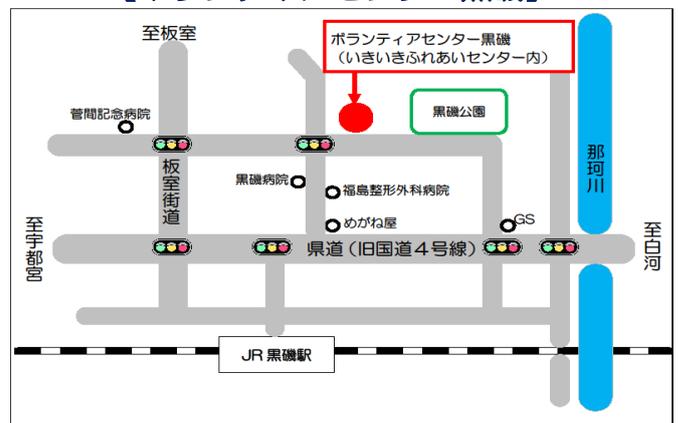
和ルーム(12畳) … 5名

フロアー和ルーム側 … 8名

フロアー事務所側 … 職員の分散勤務中
のため利用不可

※詳しくは、ボランティアセンター本所まで
お問い合わせください。

【ボランティアセンター黒磯】



住 所：那須塩原市桜町1-5

いきいきふれあいセンター内

電 話：0287-73-0073

FAX：0287-73-0073

Eメール：k.vcenter@ns-shakyou.jp

ボランティア活動実績

| 9月 | イベント | 0件 | 0人 | 10月 | イベント | 0件 | 0人 |
|-----|------|----|-----|-----|------|----|----|
| | 託児 | 0件 | 0人 | | 託児 | 0件 | 0人 |
| その他 | 0件 | 0人 | その他 | 0件 | 0人 | | |
| 合計 | 0件 | 0人 | 合計 | 0件 | 0人 | | |

ボランティア登録数(10月31日現在)

| 団体 | 個人 |
|--------------|-----|
| 118団体(非公開含む) | 81人 |



発行：社会福祉法人那須塩原市社会福祉協議会

ボランティアセンター本所 TEL 0287-47-6700 FAX 0287-47-6690

〒329-2705 那須塩原市南郷屋5-163(健康長寿センター内)

Eメールアドレス：v.center@ns-shakyou.jp

ホームページアドレス <http://ns-shakyou.jp/>

★メール、FAX、お電話で皆さまの感想や情報をお寄せください。

